

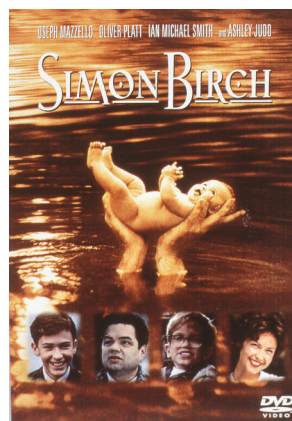
# 大切なものである友達

周 也 (筑波大学大学院／比較・国際教育学)

## サイモン・バーチ

(原題：Simon Birch)

- ◆ 種別：DVD (映画)
- ◆ 監督：マーク・スティーブン・ジョンソン
- ◆ 製作年：1998年
- ◆ 製作国：アメリカ合衆国
- ◆ 発売元：ウォルト・ディズニー・スタジオ・ジャパン
- ◆ 価格：1,500円 (税込)
- ◆ 時間：本編 114分
- ◆ 音声：英語／日本語
- ◆ 字幕：日本語／英語／日本語吹替用字幕



©Hollywood Pictures Company

### あらすじ

出生時、医者が驚くほど小さく、一晚もたないだろうと言われたサイモンは12歳になった。身長は96cmにしかなかったが、野山を駆け、湖で泳ぎ、野球もする元気な少年に成長していた。「神様は何か理由があって僕を小さくしたに違いない」と信じ、特別なプランが神様から与えられる日を待っている。一方、彼の親友ジョーは、美しく心優しい母レベッカの私生児として生まれ、本当の父親を知りたいと願っていた。サイモンが野球で初ヒットを打ったある夏の日の出来事が、二人の友情を深め、人生を大きく変えていく。『ガープの世界』で有名なジョン・アーヴィング原作の涙と感動の友情物語。

### シーン再現

<事故後、ジョーはサイモンの病室を訪ねる>

サイモン：子どもたちは無事かい？

ジョー：はい。                      サイモン：助かった？

ジョー：スチュアートも。

サイモン：子どもたちは僕の言葉に従ってくれた。僕の容姿のおかげだ。

ジョー：そうだ。                      サイモン：窓は僕のサイズだった。                      ジョー：うんと小さい。

サイモン：うんと、うんと小さい。200 ミシシッピ以上も水の中に。

### Chapter

1.	オープニング／3'58
2.	リヴィー先生／2'51
3.	小さな“奇跡”／3'59
4.	ジョーのママ／2'53
5.	マージョリー／5'48
6.	袋の中身は？／8'05
7.	サイモンの意見／6'09
8.	運命のボール／6'20
9.	仲直り／4'36
10.	それでも人生は続く／2'01
11.	祖母のアドバイス／2'21
12.	父親探し／9'27
13.	困ったときの友／3'11
14.	幼きイエス／4'40
15.	神様の計画／2'24
16.	騒ぎの発端／6'06
17.	厳罰／6'42
18.	明かされた秘密／7'56
19.	事故／3'58
20.	英雄になる時／6'53
21.	最高の友達／5'24
22.	本当の父親／3'35
23.	エンド・クレジット／3'45

ジョー：自慢するなよ。           サイモン：約束して。           ジョー：何？  
サイモン：君に僕の野球カードをベンと分けてほしいんだ。お願い。  
ジョー：わかった。約束する。…サイモン、君は僕の最高の友達だ。  
サイモン：わかってるさ。…ジョー、もう行かないと…。  
ジョー：また後でね。(その後、サイモンは息をひきとり、ジョーは悲しみに泣き崩れる)

## ■ 教育学の視点から

本作品は、12歳の2人の少年の深い友情を描いたものである。身長の低いサイモンと私生児であるジョーは、それぞれ特別な成長経験を持ち、強い絆で結ばれている。この映画に描かれた彼らの生活の中心は、学校生活ではなく、放課後の生活である。彼らは森で遊んだり、湖で泳いだりして楽しく毎日を過ごしている。サイモンは200ミシシッピ数えるほど長く潜水できることを誇りとし、このことが映画の伏線となっている。

冬のキャンプの帰り道、子どもたちを乗せたバスが道路に飛び出してきたシカを避け、湖に落ちるという事故が起きる。教師は意識不明、子どもたちは泣いてパニックに陥っている状況で、サイモンは得意の潜水力を生かして冷静に子どもたちを救出する。そして、この事故後にサイモンはこの世を去ることになる。

教育によって知識を獲得できるのは当然であろう。しかし、教育はただ方程式などの知識を授けるという狭隘な意義にとどまるものではない。人間的成長、全面的な発達を支援することこそ、教育の重要な役割である。そして子どもたちの成長の場面は、学校生活のみに限られない。むしろ、この映画に描かれているように、放課後の自由な生活時間を通して、子どもたちは大きく成長していくのである。子ども同士の遊びの中で、他者の優れたところを学びとることも大切な成長の機会となる。

子どもの仲間集団について研究した住田は、「他人である遊戯仲間との関連において、又は対比において、子どもは自己を意識するようになる」（79頁）と指摘する。自由な遊びは互いの行動や考え方を理解し合うことが前提となるのであり、そのような集団の活動を通して、子どもたちは自己を理解し、成長していくのである。

本作品には、当然ながら教師や親の姿も描かれているが、中心となるのは子どもたちである。サイモンとジョーという2人の少年のまなざしを通して、彼らがどのような教育環境にあり、どのような影響をうけているかが表現されている。誰もが特別な状況のもとで成長するのであり、教育環境は多様である。その中で生き抜くために、自分を受け入れ支えてくれる友人の存在は、子どもにとって非常に重要なのだ。子ども同士の遊びは、ほんの些細なこと、つまらないことと捉えられがちである。だがそれこそが、子どもの能力を豊かに開花させる教育環境を作り出しているのかもしれない。

### Information

- 【映画】同級生の友情を描く映画に、今年の大ヒット作である次の作品がある。  
・『モンスター・ユニバーシティ』監督：ダン・スカンロン、製作国：アメリカ合衆国、2013年、本編103分、英語音声、日本語字幕。  
【引用参考文献】住田正樹『子どもの仲間集団の研究』九州大学出版会、2000年。

友達の支えは柱のように頑丈である